

2017年3月期第2四半期 決算説明会 主要Q&A

Q：上期が当初公表値対比で売上、営業利益ともに上ぶれたが通期はどう考えればいいのか？

A：上期の売上高が当初公表値（1,030億円）に対し+29億円となったのは、製造業におけるアプリケーション開発と、官公庁向け基盤案件の増によります。下期の売上高は1,171億円と当初公表値（1,200億円）に対し-29億円となっておりますが、対前年では+48億円の高い目標です。金融の減少があるもののその他の領域でカバーすることで計画の達成を目指します。

また通期の営業利益については、当初公表値に対し売上総利益で4億円の増益を見込んでおりますが、販管費に来期以降のトップライン拡大の為の営業強化費用4億円を織り込み、計画の達成を目指します。

Q：クラウドビジネスの規模とY o Yでの成長について教えてほしい。

A：クラウドビジネスは、昨年度実績120億円に対し、今年度は130億円+ α を見込んでおります。上期の実績を見ますと、昨年度上期の55億円に対し今年度上期は62億円と順調に進捗しております。

Q：下期に新たに織り込まれた営業強化費用とは何か？

A：セキュリティ対策ソリューションをはじめとする新たなソリューションメニューの開発・充実を行うなど、競争力の維持・強化を図るための費用です。

以 上